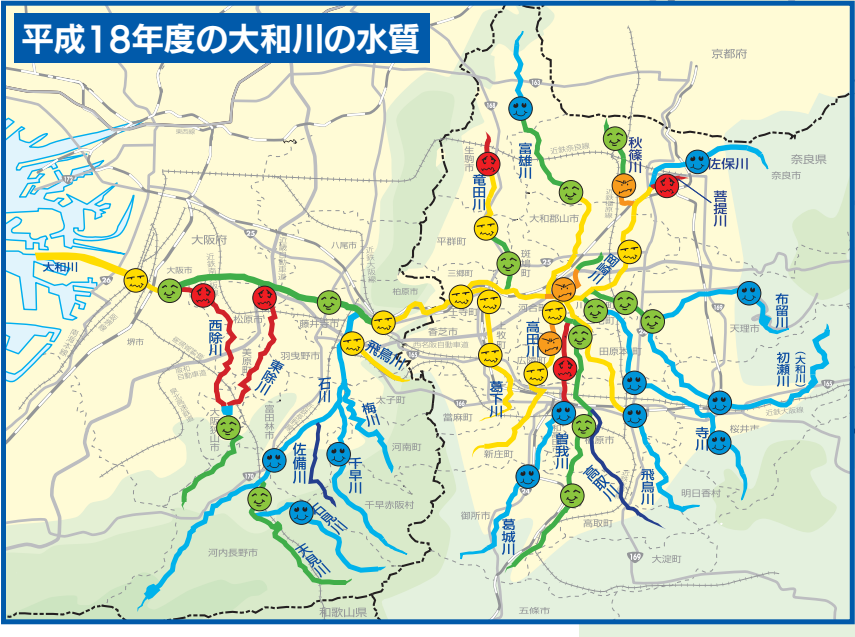
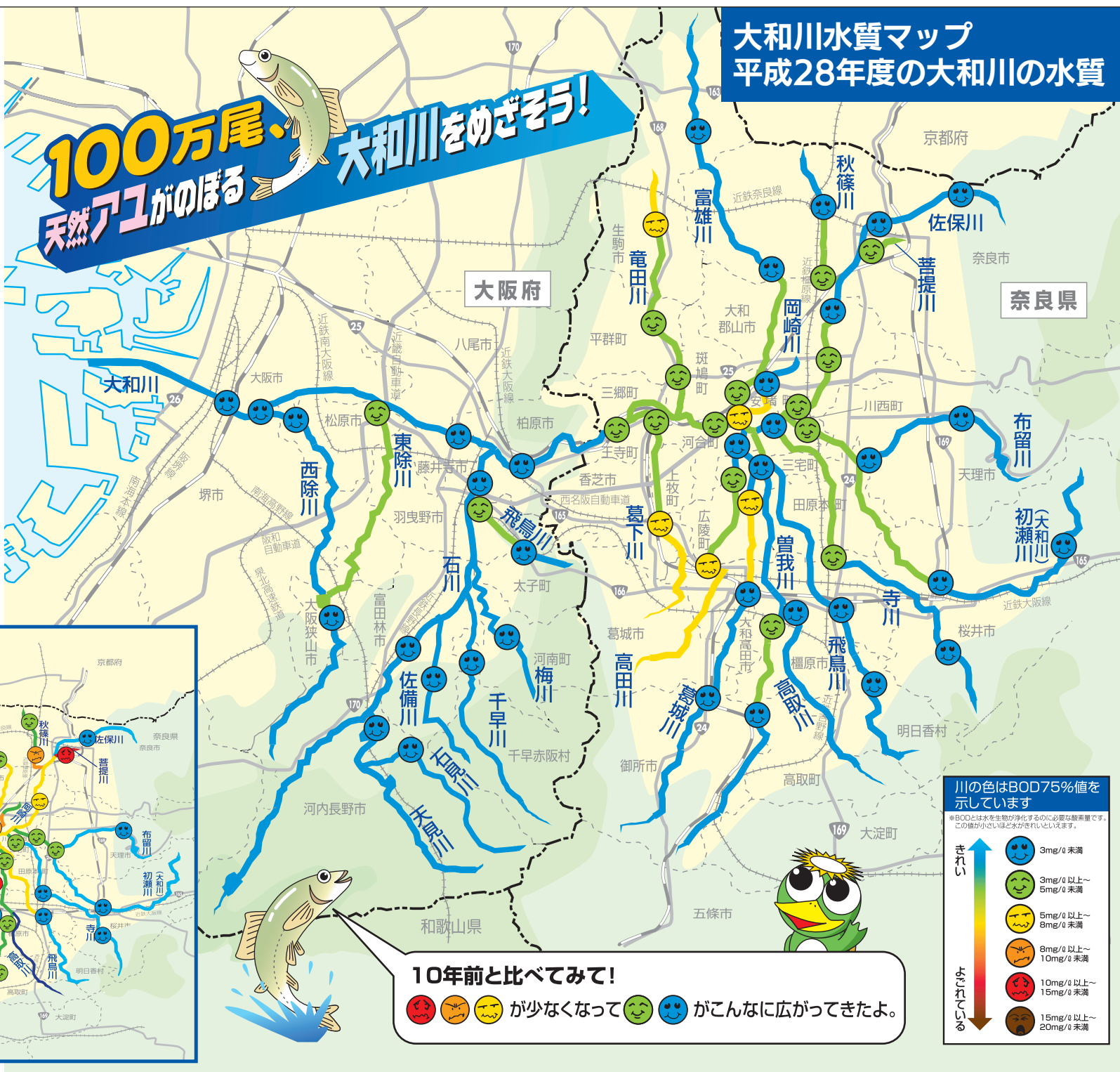
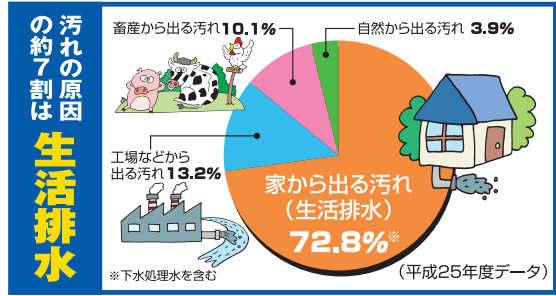


# 子どもたちが、いきいきと水しぶきをあげて遊べる川をめざして。

劣悪な状況であった大和川の水質は年々改善され、昭和45年には31.6mg/lであったBOD75%値は平成28年には2.9mg/lとなり、9年連続で環境基準レベル(5.0mg/l以下)を維持しています。

今ではアユの産卵や遡上が確認されるまでになってきましたが、流域全体では環境基準を上回る地点もみられます。

大和川をもっときれいにするために、「遊べる大和川」「生きものにやさしい大和川」「地域で育む大和川」を目指して、できることから始めましょう。



**10年前と比べてみて!**

😡 😞 😐 が少なくなって 😊 😊 がこんなに広がってきたよ。